

当院を受診された患者さまへ

当院では機関長の許可を得て、下記の臨床研究に協力し、当院の情報を提供しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で、診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名	SafeCT®のノイズ除去処理による early CT sign の描出改善の検討 (多施設共同研究)：横断研究
研究代表者 研究代表機関	西江昭弘 琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座 教授
情報の提供を行う機関	機関名：中頭病院放射線科 (担当者：上地栄輝) 機関名：ハートライフ病院放射線科 (担当者：岡伊作)
本研究の目的	SafeCT®を用いて急性期脳梗塞患者の頭部 CT 画像のノイズを除去し、early CT sign の検出率が向上するかどうか検討すること
研究実施期間	研究機関の長の許可日～ 2025 年 12 月 31 日
調査データ(該当期間)	2018 年 1 月から 2022 年 12 月の期間の情報
研究の方法 (利用する試料・情報等)	<ul style="list-style-type: none"> ●対象となる患者さま CT 検査にて肋骨骨折を指摘された 18 歳以上の患者様 ●利用する試料・情報 情報：CT 画像データ、病歴 (年齢、性別、受傷からの期間 (3 週間以上/未満)、検査日、受傷部位) 等
試料/情報の機関間の提供および提供方法	情報の提供を行う機関から研究機関への情報の提供は、パスワードでロックをかけたハードディスクで行います。また、画像解析のため、外部の検査機関に画像データ等を提供しますが、個人を特定できる情報の提供は行いません。
試料・情報の二次利用	本研究で取得した試料・情報の利用は、別の新たな研究に利用する可能性があります。その場合は、再度、倫理委員会へ申請し、研究機関の長の許可を得てから利用します。
個人情報の取り扱い	調査により得られた被験者の情報は匿名化されます。匿名化された情報から、必要な場合に研究対象者 (提供者) を識別することができるよう、当該研究対象者と匿名化の際に置き換えられた対応表は、電子カルテシステム内に保管されます。研究協力機関からの情報はパスワードを設定した HDD ないし SSD メモリを利用して授受します。基本的に対応表の印刷は行わず、対応表は機関間で授受しません。もし印刷する必要があった場合は、使用後に直ちにシュレッダーにて破棄します。論文作成時、また学会発表時には個人が特定できる情報は一切用いません。

<p>本研究の資金源 (利益相反)</p>	<p>文部科学省科学研究費 本研究は琉球大学利益相反審議部会および協力病院（中頭病院、ハートライフ病院）の利益相反手続きに従い、必要事項を申告し、その審議と承認を得るものとする。</p>
<p>お問い合わせ先</p>	<p>< 当院の担当者 > 電話：098-930-1300（代） 担当者：諸見里秀和 （社会医療法人敬愛会中頭病院 放射線科 部長）</p> <p>< 研究代表機関の担当者 > 電話：098-895-1162 担当者：西江昭弘 （琉球大学大学院医学研究科 放射線診断治療学講座 教授）</p>